

おきたま大豆づくり情報 No.3

令和 7 年 8 月 7 日
置 賜 総 合 支 庁
農 業 技 術 普 及 課
西置賜農業技術普及課

**8 月 も 気 温 は 高 く 経 過 す る 見 込 み ！
土 壌 乾 燥 が 続 く 場 合 は、 かん 水 を 行 い、
乾 燥 ス ト レ ス を 防 止 し て 収 量 向 上 ！
ま た、 適 期 防 除 で 高 品 質 な 大 豆 生 産 を 目 指 し ま し ょ う ！**

大豆は、開花期から登熟初期にかけて多量の水を必要とします。この時期に土壌水分が不足し乾燥ストレスがかかると、花数の減少や落花、落莢による結実数の減少、百粒重の低下など、収量に大きく影響します。

これから無降雨期間が続く、土壌乾燥が進む場合には、かん水を実施し、着莢率の向上や子実の肥大を図ることが重要です。

1 かん水の判断とタイミング

- ◎開花期以降に土壌表面が白く乾燥し、その先も降雨の見込みがない場合はかん水が必要です。
- ◎大豆の葉の直立と裏返りは乾燥ストレスを受けている目安です。



図 大豆の葉の直立と裏返りの様子

2 かん水の方法

- ◎水尻と暗渠を閉じて、畝間かん水を実施しましょう。
- ◎かん水はできるだけ朝夕の涼しい時間帯に行い、ほ場全体に水が行き渡ったら速やかに排水します。
- ◎30a を超えるほ場では3日間に分けて徐々にかん水を行います。
- ◎過度のかん水や、排水が不良なほ場でのかん水は湿害を招くので注意が必要です。
- ◎地下かんがい設備がある場合には、地下水位を 40～50 cm に制御します。
- ◎この時期は他の作物も水を必要とする時期ですので、近隣状況に十分配慮し、かん水可能なほ場で実施します。

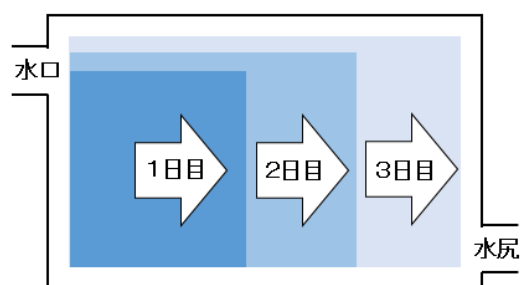


図 3日間に分けたかん水のイメージ



図 かん水の様子

3 「大豆かん水支援システム」でかん水タイミングを支援

◎大豆が受ける乾燥ストレスの推計ができ、かん水が必要なタイミングが把握できます。ぜひ活用下さい。

◎URL とログイン方法〔パソコンでご利用ください（スマホ未対応のため）〕

- ・ URL : https://www.agrilook-info.jp/yamagata_pref/
- ・ ユーザーID : kansuishiyou
- ・ パスワード : kansuishiyou123

① クリック

② チェック

③ 表示される

①各項目を入力

②クリック

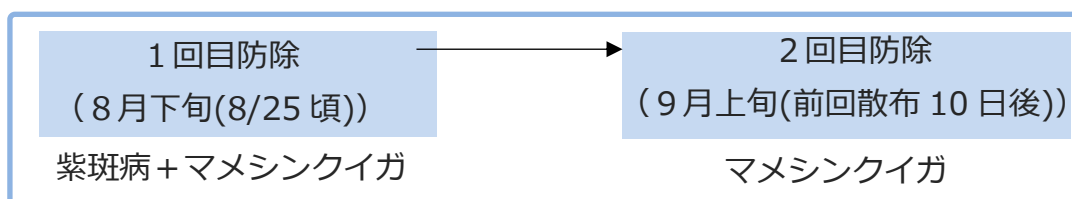
ユーザーID、パスワードを入力

4 適期防除で病害虫防除を！

◎紫斑粒やマメシンクイガの食害は収量・品質に大きく影響を及ぼします。適期を逃さないように防除しましょう。

◎**紫斑病は、開花25～35日後が防除適期**です。マメシンクイガの1回目と同時防除が可能です。

◎**マメシンクイガは、8月下旬（8月25日頃）と9月上旬（前回散布の10日後）の2回防除が基本**です。



農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故を防止しましょう！

複数人での作業実施、施設や道具の点検、転落防止のための対策などを徹底しましょう。
また、こまめな休憩と水分補給、ゆとりを持った無理のない作業を心掛けましょう。